

YOSHITA Minori

略年譜

1888 明治21	錦山窯初代・吉田庄作(伯父)が石川県能美郡高堂村(現・小松市高堂町)に生まれる。
1900 明治33	吉田庄作が高堂の田中英亮のもとに入門。
1905 明治38	吉田清一(父)が生まれる。
1906 明治39	吉田庄作が石川県能美郡高田村字高堂(現・小松市高堂町)で独立 号「錦山」。
1926 大正15	吉田庄作・清一兄弟、高堂八幡神社に椎の木を寄進。
1932 昭和7	0 7月7日 吉田清一の長男として石川県能美郡板津村字高堂(現・小松市高堂町)に生まれる。
1933 昭和8	1 吉田清一が錦山窯二代となる。
1941 昭和16	9 吉田清一が死去。
1945 昭和20	13 旧制石川県立小松中学校に入学。
1948 昭和23	16 1月24日 吉田庄作が死去。在学中、錦山窯の職人から陶技を学ぶ。
1951 昭和26	19 新制石川県立小松高等学校を卒業し、家業に就く。錦山窯を継ぐ(三代)。
1952 昭和27	20 石川県工芸指導所の研究会に参加。
1958 昭和33	26 天皇后両陛下の来県にあたりご使用の茶器を制作(「青粒粹取人物図蓋付茶器」九谷錦山)。
1960 昭和35	28 吉田幸央(長男)が石川県小松市高堂町に生まれる。
1962 昭和37	30 武蔵野美術短期大学特修生として工芸デザインを学ぶ(-1963)。
1969 昭和44	37 9月 温度自動制御付きの上絵電気窯を導入。
1970 昭和45	38 日本万博博覧会(大阪万博)に石川県より選抜され「百人一首大花瓶」出品。
1971 昭和46	39 この年から徳田正彦(三代八十吉)・松本佐一と3人展を各地で開催。
1973 昭和48	41 内藤正光の指導で石川県「産業工芸展」ほかデザイン展受賞者7人で九谷デザイン開発協同組合を設立。組合の責任者となり、九谷七彩会の展示会を全国に展開。第13回小松美術展にはじめて「美統」として出品。
1974 昭和49	42 「加藤土師明陶業展」(9月5日-9月10日 なんば 高島屋 朝日新聞社主催)開催。第21回日本伝統工芸展 初入選「釉裏金彩草文鉢」(No.08)。
1975 昭和50	43 九谷デザイン開発協同組合として国の高度化資金を得て九谷陶磁器意匠研究所、旭窯を開く(小松市南浅井町イ57)。旭窯では、デザインストックをもとに、ハンドメイドで製品化する取組みを行う。
1979 昭和54	47 釉裏金彩鉢外務省買上作品に選定される。
1980 昭和55	48 一水会会員に推挙。
1981 昭和56	49 日本工芸会正会員となる。
1982 昭和57	50 石川県中小企業団体中央会会長表彰。
1984 昭和59	52 一水会陶芸部常任委員。
1985 昭和60	53 一水会 徳田記念賞受賞(二代徳田八十吉)。
1986 昭和61	54 京都南禅寺 野村美術館で個展開催。
1987 昭和62	55 高島屋東京店で個展開催。



1947 | 旧制小松中学校3年15歳



父 | 吉田清一



1960頃 | 高堂の風景(美統撮影)



1970頃 | 制作風景



1960頃 | 錦山窯で絵付する職人倉本外次(美統撮影)



1960頃 | 白盛の孔雀図壺(吾の焼印)(美統撮影)



1960頃 | 美統習作



1971頃 | 三代八十吉(左)と



1974 | 第21回日本伝統工芸展 金沢会場(石川県立美術館)にて 左から2番目が美統



1978 | 九谷旭窯七人展 案内ハガキ

YOSHITA Minori

略年譜

1989 平成元	57	名古屋通商産業局長賞受賞。
1991 平成3	59	銀座和光ホールに於いて個展開催。
1992 平成4	60	石川県指定無形文化財保持団体九谷焼技術保存会会員に認定される。
1993 平成5	61	「釉裏金彩鉢」ワシントン・スミソニアン研究機構のサックラー美術館の永久保存作品に選ばれる。 銀座和光ホールに於いて個展開催。
1994 平成6	62	高島屋横浜店で個展開催。
1995 平成7	63	1994年度日本陶磁協会賞受賞。 第42回日本伝統工芸展鑑査委員。
1997 平成9	65	銀座和光ホールに於いて個展開催。
1998 平成10	66	日本橋三越本店で個展開催。
1999 平成11	67	通商産業大臣表彰。 白山自然智の里生雲 壁画「白山龍神」制作。
2000 平成12	68	第47回日本伝統工芸展鑑査委員。
2001 平成13	69	紫綬褒章受章。 7月12日 重要無形文化財「釉裏金彩」保持者に認定。 石川県文化功労賞受賞。 北國文化賞受賞。 日本橋三越本店で個展開催。 日本工芸会石川支部常任幹事。
2002 平成14	70	小松市文化賞受賞。
2003 平成15	71	日本工芸会参与。 日本工芸会石川支部顧問。 石川テレビ賞受賞。
2004 平成16	72	石川県立小松高等学校にて 第3回創立記念特別展「吉田美統」(9月1日-10月29日)開催。
2005 平成17	73	第2回日本陶磁協会 現代陶芸奨励賞 審査員。
2006 平成18	74	旭日小綬章受章。
2007 平成19	75	吉田幸央に錦山窯を譲る(四代)。
2011 平成23	79	文化庁企画により工芸技術記録映画「釉裏金彩 吉田美統のわざ」制作される。
2012 平成24	80	時計塔80年記念傘寿 吉田美統陶芸展(和光ホール)。
2015 平成27	83	第66回全国植樹祭いしかわ2015にて 天皇皇后両陛下が茶盃をご使用になる。
2018 平成30	86	日本橋三越本店にて8回目の個展開催。
2019 平成31 令和元	87	ラグビーワールドカップ2019™日本大会のメダル製作のための 原画を依頼される(cf. No.12「釉裏金彩桜花文陶額」)。
2023 令和5	91	11月20日 小松名誉市民の称号を授与される。
2024 令和6	92	錦山窯三世代5人による「嘸旦」展開催(柿傳ギャラリー)。 特別展人間国宝「釉裏金彩」吉田美統の景色(10月19日-12月8日)開催 (主催 小松市立博物館・小松市立本陣記念美術館)。



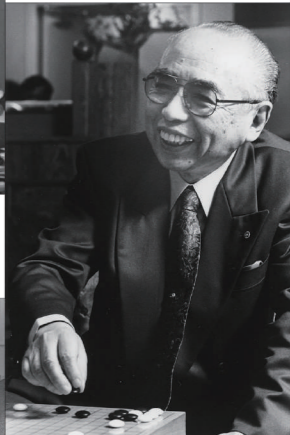
1999 | 那谷寺
白山自然智の里生雲
壁画「白山龍神」と「釉裏金彩白山龍神」



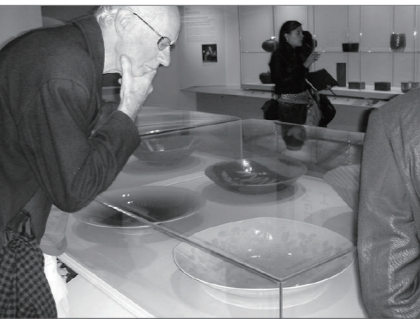
1992 |
釉裏金彩鉄線文飾皿の制作風景



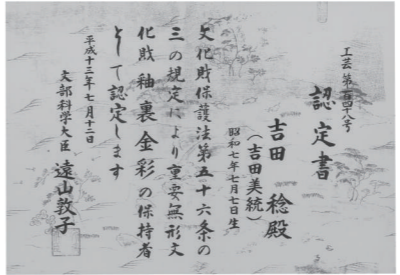
2005 | 文子夫人と



2003 | 趣味の囲碁



2007 |
「わざの美 伝統工芸の50年」大英博物館にて



2001 | 重要無形文化財
「釉裏金彩」保持者認定書



2011 |
姉妹都市英国ゲーツヘッドにて釉裏金彩を紹介